
福川 伸陽（ホルン）

Nobuaki Fukukawa, Horn

—私は彼をこう称える。素晴らしい演奏家であり、芸術家だ—リッカルド・ムーティ

—天賦の才とカリスマ性を持った音楽家である—パーヴォ・ヤルヴィ

ホルンのソリストとして、世界的に活躍している音楽家の一人。NHK 交響楽団首席奏者として、オーケストラ界にも貢献した。第 77 回日本音楽コンクール ホルン部門第 1 位受賞。

ソリストとして、パドヴァ・ヴェネト管弦楽団、NHK 交響楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団他と共演している。

国内外の重要な指揮者の信頼も篤く、ファビオ・ルイージ、クリストフ・エッセンバッハをはじめ、故ビエロフラヴェクなどの絶賛を受けている。

ロンドンのウィグモアホールをはじめ、ロサンゼルスやブラジル、北京などでリサイタルをするなど、世界各地から数多く招かれており、「la Biennale di Venezia」「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」「東京・春・音楽祭」などをはじめとする音楽祭にもソリストとして多数出演。

その演奏は多くの作曲家にインスピレーションを与え、福川伸陽のために書かれた作品は、久石譲「The Border」、藤倉大「ホルン協奏曲第 2 番」「ゆらゆら」「ぽよぽよ」「ざざざ」「はらはら」、吉松隆「Spiral Bird Suite」、田中カレン「魔法にかけられた森」、川島素晴「Rhapsody in Horn」、酒井健治「In a blink」「告别」、鈴木優人「世界ノ雛型」「モーツァルティアーナ」「Romantissimo」、狭間美帆「Letter from Saturn」「源平音楽絵巻」など数十曲に及ぶ。

室内楽奏者としては、ライナー・キュッヒル（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター）、ハインツ・ホリガー（オーボエ奏者、作曲家）などと共演しているほか、日本人ソリスト達で構成される木管アンサンブル「東京六人組」やトッププレイヤー達が集結した「ARK BRASS」などで積極的な活動を展開。

ピリオド楽器での演奏にも力を注ぎ、バロックホルンやナチュラルホルンの演奏者としてバッハ・コレギウム・ジャパンを中心に、室内楽や録音においても欠かせない奏者の一人となっている。

リサイタルや室内楽、協奏曲の演奏は、NHK、テレビ朝日、フジテレビをはじめ、ドイツ、イタリアなどでも放送された。

キングレコードより 4 枚のソロ CD、モーツァルトのホルン協奏曲全集、リヒャルト・シュトラウスのホルン作品集をリリースし、音楽之友社刊「レコード芸術」誌上にて特選版に選ばれている。

国際ホルン協会評議員、東京音楽大学准教授。客員教授として、洗足学園音楽大学、大阪音楽大学、エリザベト音楽大学で後進の育成にも力を注いでいる。

（令和 6 年 8 月現在・転載禁止）